

6月に入り、夏の訪れを間近に感じられるような気候となり、日本各地からは梅雨入りの便りが続々と届いております。

今月はふるさと産品給食の日があるため、地元食材や県産食材を使用したメニューが多数登場し、さらに、間もなく開幕するサッカーワールドカップに関連した献立を取り入れているところもあり、例年よりもバラエティーに富んだ給食が実施されるのではないのでしょうか。おいしい学校給食を食べて、サッカー日本代表の活躍を期待して応援しましょう。

学校給食センター連絡協議会定例総会及び研究協議会

5月9日(水)青森県総合社会教育センターで開催されました。

今年度の人事異動に伴い、総会前の臨時役員会で新たに会長と副会長が選任され、会長には青森市小学校給食センター 浅利剛彦所長が、副会長には弘前市東部学校給食センター 三上正彦所長と十和田・六戸学校給食センター 漆畑達夫所長が就任しました。

総会では、初めに今年度新たに就任された給食センター所長が紹介された後、議案の審議に入りました。議案は平成29年度事業報告・決算報告と、平成30年度事業計画案及び収支予算案についての2議案で、全て承認されました。

午後は県教育庁スポーツ健康課 川井陽子指導主事と県学校給食会 坪田博幸物資課長から平成30年度の学校給食関連事業等についての説明がありました。

続いて、県健康福祉部保健衛生課 石井昌史主幹による「HACCPと食品衛生管理について」の講演が行われ、日本でのHACCP制度化の経緯と現状、青森県における取組について説明されました。今後の食品衛生法の改正により、学校給食センターにおいても対応が必要となることが想定され、学校給食における衛生管理や異物混入防止の観点から、参加者は大きな関心を持ちながら聞いておりました。

青森県栄養教諭・学校栄養職員研修会並びに 青森県学校栄養士協議会定期総会

5月11日(金)青森県総合社会教育センターで開催されました。

午前は東北女子大学 前田朝美准教授と出口佳奈絵助教による、「生活リズムと子供の健康～いつ食べる 何を食べるか 食を知る～」の講義が行われました。これまでのような食事内容の改善だけではなく、そのタイミングや食環境による影響を知ること、さらに問題に対して本人が現状を知り、自主的に取り組めるような教育が求められるとのことでした。食育の課題として、知識の習得だけではなく、どう実践として取り入れていくかが重要であるという内容に参加者は熱心に学んでおりました。

午後は、蓬田村立学校給食センター 山田佳奈栄養教諭、五所川原市立学校給食センター 渡邊紗絢栄養教諭、八戸市立学校北地区給食センター 滝田敦子主任栄養士の3名による研究発表と、県教育庁スポーツ健康課 川井陽子指導主事による本県学校給食の現状についての説明と、県学校給食会 坪田博幸課長による学校給食用物資の動向について説明が行われました。

その後の青森県学校栄養士協議会定期総会では改選期のため役員の改選が行われ、会長には佐藤正子栄養教諭が、副会長には小島良子栄養教諭、木村雪乃栄養教諭、柴田雅代栄養教諭が再任されました。